

四番町図書館コメントコンテスト 最終結果発表!

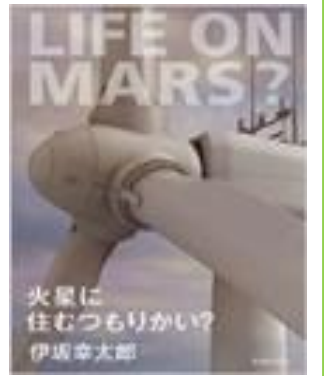
応募総数 235 点の中から一次選考で選ばれた 10 作品。
利用者の皆様からのご投票で得票の多かった 4 作品の受賞が決定!

レッドソックスファンさん (中学 1 年生)

大賞

『火星に住むつもりかい?』

伊坂幸太郎 / 著
株式会社 光文社



この本の題名を見ると、どんな SF なのか、と考えますよね。でもこれ、実はサスペンスに近いのです。始まり方は唐突で、平和警察という残虐な制度を中心に話が展開していきます。主人公は、誰なのか分からず、最後にこの人だったのか!と驚かされました。テーマは、正義と偽善について。とても興味深い内容です。あなたも手に取って見たら、この話が理不尽なことを忘れさせ、壮快感で満たされると思います。

シャイボーイあたえさん (中学 1 年生)

準大賞 『グレッグのダメ日記
とんでもないよ』

ジェフ・キニー / 作
中井はるの / 訳 ポプラ社



グレッグのダメ日記という本は、私を前向きにさせてくれた本です。～とんでもないよ～というサブタイトルは、この第9弾にピッタリです。主人公はグレッグという少年です。グレッグが、過ごす毎日で起こる出来事をおもしろおかしく日記につけています。この本はノートのように野線が入っており、絵も場面ごとに細かく描かれているので、まるで本当の日記を読んでいるような気持ちになります。おもしろいので、ぜひ読んでみてください。

レオさん (高校 2 年生)

準大賞 『いたいのいたいの、
とんでゆけ』

三秋穂 / 著
株式会社 KADOKAWA
アスキー・メディアワーク
(メディアワークス文庫)



もし、人生のどん底に突き落とされたとしたら皆さんならどうしますか?この本は、人生のどん底の中で生きていく男性と少女の物語です。10日間という限られた時間の中で、彼らしく生きていて、暗闇の中で生きていても、私には勇敢に見え、幸せだったのだなと感じました。読む人によって、かなり感じ方が違う本だと思いますが、辛い時にこの本を読んで、案外小さな事で悩んでいたと気付かされるのは確かです。一度、読んでみては?

みーさん (高校 2 年生)

準大賞 『はなちゃんのみそ汁』

安武信吾・千恵・はな / 著
株式会社 文藝春秋
(文春文庫)



この話は映画化や日本テレビの 24 時間テレビでドラマ化もされた実話です。千恵さんは 25 歳で乳がんを患った後にムスメのはなちゃんを授かったので、文字通り命がけの出産をしました。千恵さんは、はなちゃんが成長していく中で生活する為に必要なたくさんの事を教えていきました。特に本の題名にもなっている味噌汁は、毎日欠かさず出汁から作っているそうです。読む人に少しでも早く起きて手伝いをしようと思わせてくれる 1 冊です。

●ご投票いただいた皆様からの感想・コメント●

- どのコメントもメッセージが明確で感心しました。皆素敵だと思います。
- この本はという入り方ではなく本の内容から入ったのが読みやすかった。プロの人の文の様です。すばらしいです。
- 大人の目を意識しないコメントも読んでみたいです。
- 図書館があってあたりまえと思わず、ありがたく、たくさん頼って欲しいと思います。

応募総数 235 点でした。たくさんのご応募・ご投票ありがとうございました!